



2月 調布幼稚園だより

令和8年1月30日



『 研究の成果を生かして 』

園長 山形美津子

「こどもの畑」の紅梅がきれいに咲き、香しいにおいを放っています。一年の中で一番寒い時期ですが子どもたちは寒さにも負けず園庭やグラウンドで元気に活動しています。冬の風物詩でもある霜柱を「ザクザク」と踏みしめる体験やバケツやタライに氷を作る仕掛けをして冬ならではの自然との触れ合いを通して、自然の不思議さを感じ楽しんでます。3学期は冬から春への自然の移り変わりを感じることができる時期です。子どもたちの感性に共感したり子どもが気付いていくように促したりしていきたいと思っています。

年少組は、先日、チューリップの球根をプランターに植え付けました。次の年少組が春に入園する時に向けての活動です。土を混ぜることから始めました。自分たちが進級する四月頃にチューリップの花が咲くことを楽しみにしています。自分の成長を3歳児なりに意識して進級する日を待ちわびているようです。1月には初めて観光バスに乗り、しながわ水族館へ遠足に出かけました。友達と一緒に海の中の生き物を観たり、イルカショーを見学したりして、とても楽しかったようです。園に戻っても話が止まらないくらい見てきたことを話して聞かせてくれました。お話が上手になっていることにもびっくりしました。

年中組は、徒歩で初めて日下山公園に出かけました。年中組は、今年度6回目の園外での活動となりました。1回ごとに道路を歩く時の注意事項や公園での遊び方等の約束事を守ることができたかどうかを確認してきました。年中組の子どもたちは、しっかりと守ることができて1回ごとに「クリアー」となり、今回も楽しく過ごして行くことができました。ふくし公園や奥沢公園、今回の日下山公園など、幼児にちょうどよい遊具がたくさんあり、子どもたちは一人一人が自分の選んだ遊びを楽しんできました。この経験は年長組になるにあたっての自覚にも繋がります。

年長組は3学期に入り、小学校入学も近付いていることから、時間や活動内容を意識して学校ごっこをしています。体育の時間はグラウンドでドッジボールをしたり、図工の時間には絵を描いたり、国語の時間は自分の名前を書いたり、色々な時間を楽しみながら小学校への進学を目指して頑張っています。その中で先生からの励ましや称賛、友達同士の認め合いなどを通して、一人一人が自信をもち、小学校へ向かう気持ちを育んでいることを感じています。

さて、11月の園だよりでも皆様にお知らせしましたが、調布幼稚園は今までの研究成果をまとめて「ソニー幼児教育支援プログラムの実践報告」に応募しました。令和8年1月にその結果が発表され、本園は「研究奨励園」に選定されました。全国から147園の応募があったそうで、今回本園が選定されたことは誠に名誉なことです。審査委員から次のような講評を頂きました。

「科学する心」を育てる保育を推進するに当たり、「科学する心」は「心が動く」が軸となり、周囲の環境に心動かされ「自ら試したり考えたりする気持ちや姿勢」であり、「心が動き」「感じ」「考え」「行動する」という一連の流れとの共通理解のもとで事例考察を行う真摯な姿勢を評価しました。実践を通して気付きを広げる子どもの姿がありました。様々な方法を試し、新たな疑問に出会い、前に進む子どもの心の動きは「知的好奇心」であると位置付け、「科学する心」の育ちに対する考えの深まりが生み出されたことを高く評価します。(審査講評より抜粋)

この研究に取り組むことにより、教員相互に「科学する心」を共通理解し、子どもに向き合い、子どもが学んでいることを明らかにすることができ、私たちにとって大きな学びになりました。今後も他の場面や環境を通して子どもたちの「科学する心」を探っていきたいと考えています。賞を頂いたことは私たちにとって大変嬉しく今後の励みとなる出来事でした。

日々、子どもたちを元気に送り出してくださることに感謝の気持ちでいっぱいです。

保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご指導ご支援の程、よろしくお願い致します。

2月の目標

全学年

- 冬ならではの植物の様子や、北風、雪、氷、霜柱などの自然現象に興味をもって見たり、自分たちで仕掛けをしたりし、氷が張るか試してみる。
- 冬から春への季節の移り変わりを日差しの暖かさや木の芽吹き等、様々な自然現象から感じる。
- 感染症予防のため、手洗いうがいをしっかりと行う。

年少組

- 寒さに負けずに元気に外で遊んだり、簡単なルールのある遊びを楽しむ。
- 周りの動きに合わせてながら行動する意識をもつ。
- 今まで使ってきた遊具・用具を使って工夫して自分の好きな遊びを十分に楽しむ。
- 当番活動やお手伝いなどに喜んで取り組む。

年中組

- 寒さに負けずに元気に外で体を動かして遊びに取り組み、友達とのかかわりを楽しむ。
- コマなどに自分から取り組み、試したり挑戦したりして遊ぶ中で楽しさや満足感を味わう。
- 友達との遊びの中で、自分の思うようにならないことに対して相手にも思いや考えがあることに気付くとともに、一緒に考えようとする気持ちももてるようになる。

年長組

- 学年や学級の友達と皆でする楽しさが分かり、友達との連帯感を感じながら自分の力を発揮する。
- 小学校への進学に期待をもつとともに生活に見通しをもち、場や状況に応じた行動をする。
- 残り少ない園生活を振り返り、先生や友達、家族の方に感謝の気持ちを言葉や行動で表す。

幼稚園のビワの木は・・・

子どもたちが木登りをしたり、実を収穫して食べたり、食べた後には種でも遊ぶことができる、園児にとってはとても大切に身近な木です。

しかし、現在進行中の園舎建替え計画では、園庭と園舎の間の道を拡幅し駐輪場を作ることになっているため、ビワの木は伐根することになります。

園児にも卒業した子どもたちにとっても思い出いっぱいの木です。建替えでなくなっちゃった。。となってしまうことは非常に残念です。そこで、次に植える時には新しく購入した木を植えるのではなく【調布幼稚園のビワの木の子どもを植えたい】と考えました。

昨年の6月に収穫して食べた後に種を取っておき、
現在生育中！3株が順調に育っています！

